

「社会起業家支援事業 受託候補者募集要項」等に対する質問回答

NO	質問項目	質問	回答
1	事業全体設計・評価	<p>本事業における最重要KGI・KPIは何を想定しているか。（例：参加者数、起業創出数、採択者の成長度など）。</p> <p>参加者がどのような状態になっていることが理想としてされているかなどご教示ください。</p>	<p>本事業は、仙台・東北を牽引するロールモデルとなるインパクトスタートアップの創出を最終的な目的としています。そのため、単に参加者数や短期的な成果を重視するのではなく、仙台・東北で活動する社会起業家や関係者への理解や関係性を深めること、あわせて社会起業に関心を持つ人材層のすそ野の拡大や、地域への定着を促進することを重視しています。数値目標については、イベント参加者数、ワークショップ参加者数、大学生向けプログラム参加者数の定量的な目標を仕様書に記載のとおり設定しており、これらの達成を通じて事業効果を測定することを想定しています。</p> <p>併せて、本事業終了時点において、参加者が社会課題を起点とした事業構想を具体化し、起業・事業成長や次段階の支援施策等につながる状態となっていることを理想としています。</p>
2	社会起業に関するイベント・ワークショップ	<p>宮城県外での開催について、指定地域や想定エリアがあればご教示ください。</p> <p>また、3回以上実施のうち2回を宮城県外で実施することで得たい成果が何であるかご教示ください。</p>	<p>宮城県外での開催については、東北6県を主な想定エリアとしています。具体的な開催地域については、事業目的や参加者層の広がりを踏まえ、発注者と協議のうえ決定いただくことを想定しています。</p> <p>また、3回以上実施するイベントのうち2回を宮城県外で開催する狙いとしては、仙台・宮城県内にとどまらず、東北全体において社会起業に関心を持つ人材層のすそ野を拡大することにあります。</p> <p>併せて、イベント参加を契機として、本事業におけるワークショップや東北ソーシャルイノベーションサミット等への参加・参画につなげ、東北広域での起業家・支援人材のネットワーク形成を促進することを期待しています。</p>
3	東北ソーシャルイノベーションサミット登壇に向けた支援	<p>過去の当イベント登壇者も採択候補とすることは可能でしょうか。</p>	<p>過去に本イベントへ登壇し、または本市の社会起業家支援事業において採択された事業者については、原則として再度の採択は想定していません。</p> <p>本事業は、新たな社会起業家やインパクトスタートアップの発掘及び支援を目的としており、より多くの起業家に成長機会を提供する観点から、このような取り扱いとしています。</p>
4	ワークショップ設計	<p>ワークショップに求められる内容の深度（講義中心／実践型／伴走型など）について、想定があればご教示ください。また、3回1セットのワークショップを10名へ届ける想定か、単発講座を3回異なる参加者へ向けて実施する想定なのかご教示ください。</p>	<p>ワークショップの内容については、講義中心ではなく、実践型を基本とした構成を想定しています。</p> <p>具体的な手法や深度については、参加者の状況や事業フェーズを踏まえ、より効果的な学びや事業推進につながる内容となるよう、受託者において検討・提案いただきたいと考えています。</p> <p>また、参加者の想定については、各回ごとに異なる参加者を対象とする単発形式を基本として想定していますが、これに限るものではなく、事業目的の達成に資するより効果的な実施方法がある場合には、併せて提案いただくことを妨げるものではありません。</p>

「社会起業家支援事業 受託候補者募集要項」等に対する質問回答

NO	質問項目	質問	回答
5	メンタリング体制	仮にインパクトスタートアップ創出事業どちらも採択がされた場合は、合同でメンタリング機会を設定する（日付や時間など）等の調整は可能でしょうか。	仮に「社会起業家支援事業」と「インパクトスタートアップ創出事業」の双方において、同一の事業者が受託者となった場合には、合同でのメンタリング機会を設定することは可能です。 その際、日程や実施方法等については、両事業の目的や採択者の状況を踏まえ、より効果的な支援となるよう受託者において工夫・提案のうえ実施いただきたいと考えています。
6	サミット運営	東北ソーシャルイノベーションサミットにおける成果指標（例：来場者数以外の評価指標）があればご教示ください。	東北ソーシャルイノベーションサミットにおいては、来場者数といった定量的な指標に加え、採択者にとって実質的な価値が生まれたかという観点を重視しています。 具体的には、採択者が来場者（起業家、支援者、金融機関、企業等）とネットワーキングを行い、今後の事業連携や支援獲得につながる関係構築の機会が創出されているか、また来場者に対して採択者の取組や事業内容が十分に伝わっているかといった点を、成果の一つとして捉えています。
7	フォローアップ	過年度採択者へのフォローアップに関してですが、過年度の採択者への連絡等は前事業者もしくは貴市から連絡先等をお教えいただきながら実施する、という想定で間違いなかったでしょうか。	お見込みの通りです。
8	大学生向けプログラム	学生募集について、大学等との連携は発注者側での支援があるか、それとも受託者主体での集客・実施を想定しているかご教示ください。	学生募集については、大学等との連携を含め、受託事業者主体での集客・実施を想定しています。その上で、必要に応じて発注者においても本事業にかかる広報を行う想定です。
9	MASP連携	MASPとの具体的な連携方法や役割分担について、想定があればご教示ください。	受託事業者がMASPとの直接的な連絡調整を行うことは想定していません。フィールドトリップの参加者より社会課題解決型実践プログラムへの参加希望があった場合、MASPとの連携は発注者が担います。
10	広報	本事業の広報において、発注者が保有する媒体（SNS・HP等）の活用範囲および期待されるKPIについてご教示ください。	発注者が行う本事業の広報においては、公式ホームページ、市政だより、Slack、Facebook等の活用を想定しています。 なお、広報に関する個別のKPIは特段設定していませんが、仕様書に記載のイベント参加者数等の目標達成に資するよう、受託事業者主体での集客・実施を想定しています。
11	再委託	イベント運営等の一部業務について再委託を行う場合の許容範囲および条件をご教示ください。	イベント運営等の一部業務について再委託を行う場合の許容範囲は、業務内容の性質に応じて異なります。 キーノート等の登壇者や審査員の選定、プログラム内容の企画・構成など、事業の目的達成に直結する検討・判断を伴う業務については、本事業の中核となる主たる業務であるため、再委託はできません。 一方で、会場設営、音響・照明、受付対応等、イベントの円滑な運営に係る業務については、事前に発注者と協議し、承認を得た場合に限り、再委託を可能とします。